

<p>教育長</p>	<p>ただいまから、令和3年第8回大崎市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>出席委員定足数に達しておりますので、令和3年第8回大崎市教育委員会定例会は成立いたしました。</p> <p>本日の議事日程についてですが、お手元に配布の議案書中、当初お諮りする予定としておりました日程第1、議案第44号教育施設の用途廃止についてにつきましては、都合により、取り下げとさせていただきます。</p> <p>そのほかの議案等につきましては議案書のとおりとし、日程を繰り上げてご審議をいただきますので、ご了承願います。</p> <p>これより会議を開きます。</p>
<p>教育長</p>	<p>初めに、令和3年第7回定例会会議録の承認を求めます。</p> <p>内容については、御異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p>
<p>教育長</p>	<p>御異議ないものと認め、会議録を承認いたします。</p> <p>次に、本日の会議録署名委員を指名いたします。</p> <p>若見委員にお願いをいたします。</p> <p>また、本日の教育委員会定例会への傍聴者については、おられないことを報告いたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>続いて、私から教育長報告をさせていただきます。</p> <p>最近では日中の残暑が続いているものの、ここ数日間の朝晩は、秋の兆しすら、うっすら感じられるほどになってまいりました。皆様には体調管理にはくれぐれも留意していただきますようお願い申し上げます。</p> <p>約1カ月余りに及ぶ各学校の夏休みも終わり、幼稚園、各小中学校は、今週から授業が再開いたしました。この夏休み期間中には、園児や児童生徒には特に大きな事故もなく、無事終了いたしました。</p> <p>後ほど申し上げますが、教育委員会が実施した各種事業に参加した子どもたちは、それぞれの貴重な体験をこれからの学校生活に生かしてほしいと願っております。</p> <p>初めに、学校教育環境整備について申し上げます。</p> <p>古川西部地区につきましては、8月4日に統合準備委員会で統合校の校名募集方法等、8月6日に総務部会で制服、運動着等、指定品の取扱いなどに係る協議を進めてきております。</p> <p>また、施設整備につきましては、統合校とする現古川西中学校の校舎及び屋内運動場増築及び既存校舎改修工事等の基本設計が完了いたしました。今後、詳細な実施設計業務を進めてまいります。</p> <p>鳴子温泉地域につきましては、8月17日に各小中学校の保護者や地域の皆さまを委員とした学校統合に関する合同検討委員会を開催し、意見交換を行っております。今後も、委員会から意見をいただき、新たな教育環境づくりの参考としてまいります。</p> <p>学校給食について申し上げます。</p>

昨年6月から整備を進めておりました大崎東学校給食センターの関係工事が完了し、松山地域の鶴田工業団地内に本市4カ所目となる学校給食センターとして、8月23日に開所式を行い、給食提供を開始いたしました。

児童生徒、園児から愛称を募集した結果、大崎の色とりどりの豊かな食材を使い、7つの学校、幼稚園に美味しい給食を届けるという意味を込めた「にじいろキッチン」に決まりました。地場産の食材、加工品を活用しながら、子どもたちの笑顔があふれるおいしい給食を提供してまいります。

学校教育について申し上げます。

8月18日から21日にかけて行われた全国中学校体育大会に、地方大会を勝ち抜いた古川南中学校陸上男子種目4×100メートルリレー、田尻中学校バレー部女子が出場いたしました。

新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にある中、開催中止も危ぶまれましたが、陸上では、決勝で自己ベストを記録し、全国13位の好成績を収めました。惜しくも予選リーグで敗れてしまった田尻中学校バレー部女子については、出場選手のほとんどが1年生ということもあり、今後の活躍が大いに期待されているところであります。

次に、社会教育事業について申し上げます。

8月3日から1泊2日の日程で、市内の小学4年生から6年生を対象とした「おおさきサマーキャンプ2021」を国立花山青少年自然の家で開催しました。

この事業は、生涯学習課と中央公民館及び各基幹公民館が主体となり開催したもので、市内すべての地域から小学生49名が参加し、沢遊びやキャンプファイヤー、野外炊事などの楽しいプログラムに仲間と協力して取り組みました。

当日の運営にはジュニアリーダーの中高生25名にも携わっていただき、参加者の良きお兄さん、お姉さんとして活動をリードする中から、ジュニアリーダーとしての成長や地域を越えた連携が見られました。

また、中学生の自学自習を支援する地域みらい塾「サマースクール」を7月26日から8月6日まで、市内中学校を会場に開催しました。

多くの中学生が参加し、黙々と自ら学習に取り組む姿が見られたほか、一部の中学校では学区内の小学生を受け入れ、学区内全体で家庭での学習習慣の定着を目指す意図が感じられました。

なお、今年度から地域学校協働活動推進事業の一環として実施することから、一部の学習支援員を地域住民に担っていただくなど、地域と学校が協働して子どもを育てる協働教育の視点を取り入れております。

公民館事業では、市内小学生を対象とした夏休み子どもものづくりワークショップを8月9日に中央公民館で開催しました。削って作るお箸や竹とんぼのほか、タイルを使ったモザイクトレ作り、オリジナル風鈴の絵付けなど、12種類のメニューから選んだ工作に子どもたちは楽しんで取り組んでいました。

そのほか、各公民館においても、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、小学生を対象とした夏休みの工作、科学実験教室や高齢者対象の軽運動教室等が開催されたところです。

次に、東京2020パラリンピック聖火リレー採火イベントについて申し上げます。

8月24日から9月5日まで開催されている東京2020パラリンピックの聖火リレーでは、8月12日から8月16日の間、全国各地の市町村において聖火の種火を採火し、都道府県ごとに聖火を東京会場へ送り出す聖火フェスティバルが開催されました。

本市においても、オリンピック・パラリンピックを契機に更なるスポーツの推進を図るため、8月15日に鹿島台中央野球場を会場に採火イベントを開催いたしました。

当日は、令和元年の台風19号により甚大な被害を受けた鹿島台地域の7名の児童に参加をいただき、マイグリを活用した方法で採火しました。

採火した種火は宮城県で集火し、東京2020パラリンピック会場に送り届けられました。

また、終了後には参加した児童にパラリンピック正式競技のボッチャを体験していただきました。

夏の有備館ライトアップについて報告いたします。

8月15日に旧有備館および庭園で開催いたしました夏の有備館ライトアップは、幻想的な雰囲気 연출したライトアップを行い、市内外から47名の来館者がありました。

また、お盆期間中は小雨の降る日もありましたが、開催中の伊達政宗書状展も大好評で、8月13日から15日までの3日間で344名の来館者がありました。

次に、「徳川家康がやって来た」特別展示についてですが、今年は伊達政宗が岩出山城に入部して430年の節目にあたります。その際、徳川家康が実相寺に滞在して、岩出山城の修復を行ったとの記録があります。

この度、徳川家康が使用したと伝わる実相寺所蔵の茶碗や古文書等を有備館において8月24日から展示しております。

最後に、9月9日から開会いたします第3回大崎市議会定例会について、御報告申し上げます。

教育関連では、古川西義務教育学校整備関係予算などを補正予算議案として提出する予定でございます。

また、これら議案質疑に加え、決算特別委員会、一般質問含めて、本定例会は10月1日まで行われる予定となっております。

以上で、教育長報告を終わります。

この報告について、何か御意見があればお願いしたいと思います。

(「なし」の声あり)

教育長 ないようですので、教育長報告については以上とさせていただきます。

それでは、議事に入りたいと思います。

日程第1、議案第45号人事案件についてを議題といたします。

青沼委員 発議。

教育長 発議がございましたので、認めます。
青沼委員。

青沼委員 人事案件でありますので、教育委員会会議規則第5条第1項の規定により、議案第45号を秘密会とすることのお取り計らいをお願いいたします。

教育長

お諮りいたします。
議案第45号を秘密会とすることに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教育長

御異議なしと認め、議案第45号を秘密会といたします。
教育部長，教育部参事，教育総務課長を除き，そのほかの方々はお退室願います。

(退出者入場後，再開)

教育長

それでは，再開いたします。
続きまして，報告事項に入ります。
教育委員会からのICT活用の働きかけについての報告をお願いします。
学校教育課長，報告願います。

学校教育課長

教育委員会からのICT活用の働きかけにつきまして，御説明申し上げます。

資料1をごらん願います。

昨年度整備いたしました1人1台のタブレット端末につきましては，各学校で工夫を凝らして利用しております。

タブレットの活用状況につきましては，夏休み前の6月時点での調査になりますが，各学校の情報担当の先生にアンケートを取ったところ，小学校ではほぼすべての学校で利用が図られております。中学年以上では，週の半分以上を授業で利用しており，低学年は発達の状況に応じて利用を進めているようです。中学校でも，学校事情もあると思われそうですが，約半数で利用がされているようです。

タブレットの夏休み中の持ち帰り実施校については，小学校で6校，中学校で4校となっております。夏休み期間中，家庭で利用する充電器を準備できればよかったです。契約が間に合いませんでしたので，そういった理由もあり，実施しなかった学校もあるのかと思われます。児童生徒分の充電器につきましては，昨日入札が行われましたので，早急な納品を事業者に要請し，今後の持ち帰り学習に生かしたいと考えております。

6月のアンケートを取った際に，情報担当の先生方から，教職員の意欲や教職員のスキル，具体的な活用がイメージしづらいといった課題が寄せられました。

市教育委員会といたしましても，これまで4回ほど基礎活用やアプリ利用に係るICT活用研修を実施してきたところです。

2ページからは，その際に行ったアンケートを添付いたしました。

詳細につきましてはのちほどごらんいただきたいと思います。先生方の活用へのハードルが少し下がったのかなと思っております。

生徒会サミットにつきましては，前回定例会で各課からの報告ということで御紹介させていただいた内容となっております。今後も，ICT機器の利便性を生かし，各種行事にも活用していきたいと考えております。

資料の最後には，学校に向けて配信した活用事例を添付しております。随時，学校の方に情報提供をしてまいりたいと考えております。

以上、御報告とさせていただきます。

教育長

ただいまの件につきまして、御質問はありませんか。
早坂委員。

早坂委員

I C T教育は、ハードは来たけれども、ソフトが追いついていないというところがどうしてもあるのかなと思っているのですけれども、来年度の教育とかから i P a dを前提にして教科書が変わったりとか、そういう動きというのはあるのですか。

先生達も教科書にないものを i P a dを使ってというのなかなか難しいのかなというときに、教科書の中に i P a dを前提にしたそういう項目があったり、QRコードだったり、そこで動画が流れたりとか、そういうふうに教科書も変わっていかないとなかなか i P a dの利用は難しいのかなと思ったのですが、教科書の動きがどうなっているのか気になりました。

教育長

田中教育部参事。

教育部参事
(学校教育)

教科書のほうは、小学校、中学校、概ね4年に1回の改正ということになっていきますけれども、タブレットを見越した、まさに教科書にQRコードがあったりして、そこでかざせば動画配信であったり、そういったところでI C Tに対応した作りという形になっております。むしろ、教科書というよりは事例集というところで文部科学省のほうは資料を提示していて、それを学校のほうで随時導入していく流れを作っているというところで進んでおります。

並行して、デジタル教科書のほうも教科書会社のほうで頑張ってお作っていただいているようなので、そういったところの情報も活用しながら、学校と一緒に進めていければと考えておるところでございます。（「いつまでに教科書をデジタル化するというところまではまだ・・・徐々にというレベルなのですか」の声あり）そこまで明確なところは出ていないのかなと認識しております。

教育長

恐らく、これからはどんどん進化をしていくと想定されます。それに追いつきながら、私たちも合わせて進化をしていかなければならないと認識しているところです。

早坂委員。

早坂委員

コロナ禍なので、学校に行けなかったり、授業に出られなかったときに、教科書のQRコードをぴっとすると先生の授業動画が流れるなど、自宅学習が容易にできるようになると学校に来られなくても学習ができる環境が調うのかなと思っています。

何か動きがありましたならば教えてください。

教育長

そのほか、ございますか。
青沼委員。

青沼委員

1カ月前でしたか、相談があつて、i P a dの活用が長すぎて、タイピング練習、あれは何級とかあるのか、それを奨励したならば朝から晩までタイピングをしてということで、病気を持っているということもあつて、その親御さんの相談を受けたものですから、そういう配慮のところも学校には周知をお願いしたいというのが1つです。

あとは今、早坂委員から出た部分で、時代とともにもちろんデジタル化が進むだろうということですが、この方向性の中で紙媒体がなくなっていくということ、それが本当に正しい道かどうかということについては私も先駆的にやってきた人間ではありますが、一考が必要なのかなと思います。

つまり、細かい話をしますけれども、授業場面をビデオのように意図的に流していても、実はこれは成立しないのです。要するに、対面でということ、かなり難しさが残っている。現状、5割の人がそれができるかということ、おそらくそこまで行っていない、無理だと思う。その辺の限界性もあるので、前から話していますが、タブレットというのは、つまりツールの一つであって、それがメインに来るような時代が来ると、教育長はさきほどそのような意味で仰ったのかもしれないけれども、私の個人的な意見としては、ツールとして使うのはいいけれども、それがメインになるということについては、どちらに行くのかはしかと教育委員会が考えていかなければならないことなのだけれども、国の施策として今出てきているのに対して対応しているけれども、実際の現場からはおそらく疑念というか、今のままでは無理があるかなど。だから、努力をしなければならないと教育長が申しましたけれども、それはそうなのですが、それでもクリアしない部分があるということだけはお伝えしておかなければならないと思ったので、あえて今意見をさせていただいているのです。

この間、市の総合計画審議会があって、そこで申し上げてきたのですが、人づくりとか、そういう話が出てきたときに、最終的にはやはり人と人との関わり合いとか、そういうものの中で人間が成長するという話をあえて申し上げてきたのですが、そこを抜きにしてはなかなかできないのであろうということ、これをベースにして今意見を申し上げましたけれども、決して教育の現場の教育委員会サイドがそうあってはいけないと、私個人の意見となるが、人を育てるということはそこには行きつかないのではないかなど。ICTをもちろんもう20年前に手を付けてきた、義務教育に入れてきた人間の一人ですけれども、かなり課題があるということも入れておいたらと思ったのです。

あと1つ、さっき気になったのが、タブレットの充電器が不足したから役に立たなかった、出せなかったという話ですよね。（「そういった学校もあったかなど」の声あり）こういうのは気をつけなければならないとちょっと思ったものですから。恐らく温度差がまだまだあるものと思っているので、少しずつ進めないとなかなか難しいということだけは実体験してきた人間の一人として思っています。なかなか難しい。かといって、ICTだけができる人が教員になってきたらどうなるかという懸念もちょっとありますけれども。

以上です。

教育長

木村学校教育課長。

学校教育課長

以前の教育委員会定例会の中で、6月補正予算の件についてこちらのほうからお話しさせていただいたこともあったかと思えます。その中で、今後持ち帰りをするための充電機器の準備をしますということでお話をさせていただいたかと思えます。

充電器があればもしかすると持ち出しが可能であったということもあるかと思えますので、まずはステージのほうを進めさせていただければなと思えます。

教育長

青沼委員。

<p>青沼委員</p>	<p>あと、さっき言った配慮の部分はしかとお願いします。（「はい」の声あり）そうでないと、そのためにパニックを起こして云々ということが出ていた記録があるので。休憩時間もずっとタイピング練習をする教室になってしまっている。</p>
<p>教育長</p>	<p>このことにつきましては、学校としまして指導はしているところがありますので、なお付け加えたいと思います。</p> <p>それから、教員の中にも、デジタル化をしているものですから、デジタルとアナログという言葉が表に浮かびすぎて、私はアナログ的教育を教育の本質だと思うから、デジタルは使わないという、これは極論なのでしょう。</p> <p>今はDNAという言葉をよく耳にするようになりましたのでお伝えしておきたいのですが、デジタル・ニード・フォー・アナログ、つまりデジタルはアナログのための必要な道具だという考え方で、学校の授業内容がすべてタブレットで一人学びだけができるような時代を我々は想定していないという認識に立ったほうがいいのではないのでしょうか、今の状況では。やがて時代はどう変わるかわかりませんが、デジタルで学んだり、家庭とつなぐことも、先生が褒めてやったり、今度はこういうことを学びにしたほうがいいねとか、この教材ができたのだからこういうチャレンジもいいね、これは今のところ先生にしかできない。</p> <p>人の肌と肌のつながり、顔の見える、声のかけられる、これを教育界では重視してほしいというのが私の願いでもあります。</p> <p>したがって、どんなに進んでも、先生と子どもたちの笑顔が結ばれていることが前提かなと思っておりますので、御理解いただきたいと思いますが、タブレットもそのうちなくなるかもしれませんね。</p> <p>事によっては、教科書とタブレットということになるので、教科書は家に置いておいて、タブレットを持ってくれば、すべて教科書がタブレットに入っていますから、それで授業が進むという時代が近未来には来るかもしれません。そのときはランドセルもなくなるかもしれないし、さまざまな変化がまた起きてくるでしょう。</p> <p>私たちが大事なところに目を付けながら、しっかりと取り組んでいきたいと思いますが、いろいろな施策に関しましてはまた御意見を頂ければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>そのほか、ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」の声あり）</p>
<p>教育長</p>	<p>なければ、本案については了といたします。</p> <p>本日の議事案件については以上となりますが、委員の皆さんから、ほかに何かございますか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」の声あり）</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、以上で本日の教育委員会定例会を終了いたします。</p>

<p>教育長</p>	<p>次に，各課・館の報告に入ります。 教育部長→参事（学校教育）→教育総務課長→学校教育課長→生涯学習課長→文化財課長→中央公民館長→図書館長</p>
<p>閉 会</p>	<p>この会議録の作成者は次のとおりである。 教育総務課 総務担当 主幹兼係長 加藤浩司 上記記録の正確なることを認め，ここに署名する。 令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">_____ 教 育 長</p> <p style="text-align: center;">_____ 署名委員</p>